

はぐはぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

Vol.13

2019年7月14日発行
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

「令和時代の子育てを皆さんと一緒に考えてみませんか？」

令和の時代に入ったとたん、川崎市で多くの子どもたちや保護者が犠牲になる痛ましい殺傷事件が起こったことは記憶に新しいかと思います。

何が事件のきっかけかになったかは未だ闇の中ですが、できれば真相を明らかにし、二度とこのような悲しいことが起こらないようにと心から願います。

今、私たちが日々の生活や子育ての現場で感じることは、親や子どもたちが穏やかに幸せに普通に暮らしていくことが、少しずつ難しくなっているのではないかということです。親の失業や病気、離婚などで普通に生活している子どもたちでもあつという間に貧困に陥ってしまうことがあります。不測の事態に備えて貯蓄ができていない家庭は、今の時代、少ないように感じられます。

子どもの貧困家庭では、様々な問題が複合的に起きており、親の支援をしていかないと立ちゆかない状況になっています。教育現場や行政だけでは対応が難しくなり、どこの自治体でも手探りで対策が講じられています。



また、少子化で子どもの数が減っているにもかかわらず、虐待の相談件数は右肩あがりです。毎日のように虐待のニュースが流れています。この問題にいたっては福祉と教育、時には警察、そして地域住民が一体とならないことには容易に解決できない時代に入ってきたように思えます。ネット社会になり、誰でも気軽につながれるようになったにもかかわらず、地域や社会から孤立する親や子どもたちが後を立ちません。

とても便利で見かけは豊かになった現代。人々は仕事や家事を効率的にスマートにこなすことが良しとされ、子育てではオペレーションという言葉が使われます。新しい時代になったのをきっかけに、ちょっと立ち止まって大事なことを忘れていないか、今一度確認した方が良さそうです。大人が子どもの視点を持ち、子どもたちのために考えること。それは未来の子どもたちにとって大きな利益につながるはずだと思いますが、皆さまはいかががご考えになりますか？

それでは、この半年間もスタッフやボランティアの皆さんとともにささやかな支援に取り組んで参りましたので、ここにご報告をさせていただきます。



よーふーこどもカフェ (NHK歳末助け合い助成事業)

老人介護施設 陽風園さんで「よーふーこどもカフェ」を毎月第2土曜日に開催しています。参加してくれるのは主に小学生ですが、未就園児のお子さんもお母さんと一緒に来てくれます。毎回20人前後の参加者で、はぐはぐや地域のボランティアスタッフ6~8名で見守っています。

寝転んで本を読んでいる子や、文庫の隅っこでお友達とおしゃべりしている子もいます。施設のおばあちゃんやスタッフから折り紙を教わってもらったり、学習コーナーで勉強する子もいます。広いフロアでは汗だくになって遊んでいる子も。ここはどの子もそれぞれが思い通りに過ごせる場所です。



ここの特徴の一つは「こどもカフェ」です。付き添いのお母さんたちに子どもたちがメニューを手にオーダーを取りにいき、コーヒーを淹れることもあります。お盆にのせて恐る恐る運び、お母さんから感謝を言ってもらえると本当に嬉しそうです。お母さんたちもコーヒーを飲みながら本を読んだり、ゆっくり過ごされています。

ゲームも自分たちで考え、みんなで一緒に遊べるようにと年上の子がルールを考えてあげています。いろいろな年齢の子どもたちが一緒に過ごすことで、子どもの知恵、そして思いやりの心が育っていくのを私たちは楽しく見守っています。

子どもの居場所ネットワーク会議 平成31年2月27日(月) 開催

貧困などさまざまな困難を抱える子どもたちを包括的に支援していくことを目的に、個々に活動する地域の支援者たちのネットワークを作り、陽風園さんの場所をお借りして会議を行いました。これは地区として初めてのことで、集まったメンバーは、民生委員、主任児童委員など地域の方や医療、福祉、行政など専門職を含め総勢30名。この日は顔の見える関係になるため

に、社会福祉士の寺本紀子さんにファシリテーターになっていたワークショップを行ないました。互いの関係づくりをしながら、架空の事例検討を行ない、それぞれの対場や職種で何ができるかを考え活発に意見交換をしました。この会議が地域の子どもたちを見守るうえでの一助になることを願い、今後も継続して開催していきたいと思っています。

「夫婦支援」しあわせ家族のコミュニケーションレシピ 夫婦支援研究会(GAPS)

平成31年1月19日、金沢市ものづくり会館にて、(公財)いしかわ結婚・子育て支援財団さんとの共催で、第42回はぐはぐ子育て塾「しあわせ家族のコミュニケーションレシピ」を開催しました。子育て塾の開催日が日曜日と重なったことで実現しました。

「しあわせ家族のコミュニケーションレシピ」は、子どもの健康な育ちには家族や父親と母親の関係の良し悪しが影響することを受け、夫婦支援研究会(GAPS)が作成した夫婦支援のプログラムです。改良を重ね、学校や職場等どんなところでも開催できるように対応しています。



改良を重ね、学校や職場等どんなところでも開催できるように対応しています。

5月11日(日)には北國銀行本社ビルにて北國銀行従業員組合さんを対象に開催いたしました。準備や運営も組合員の皆さんと一緒にいかない、多くのカップルにご参加いただきました。夫婦のワークショップは皆さん初めてで最初は緊張されていましたが、徐々になごやかな雰囲気になり楽しんでいただけたようです。企業での開催は初めての試みでしたが、家族の関係性が良くなることは仕事の充実にもつながります。終了後の皆さんの感想では大変満足いただけたようでした。

❖参加人数 22名

GAPSメンバー
(公財)いしかわ結婚・子育て支援財団
多賀小児科クリニック 多賀千之院長
金沢学院大学 前川浩子准教授
NPO法人子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ



はぐはぐ子育て塾 《金沢市委託事業》

【第43回】はぐはぐ子育て塾 平成31年3月19日(水)

テーマ「子育て中に親が知っておきたい防災の話」

講師(特非)石川県防災士会 防災士 福谷正信氏

第43回はぐはぐ子育て塾は、防災士さんをお招きして、起こりえる災害のお話や災害が起きた場合の様々な対処法などを教えていただきました。災害時の簡易トイレを実際に見せていただき、作り方も教えていただきました。参加したママからは「困った時に役に立ちそうな実践的なお話をお聞きできてとても良かった」との感想がありました。子どもを持つ母親は災害が起こると、たちまち“災害弱者”となってしまいます。今の日本では災害はいつでもどこで起きてもおかしくないといわれています。備えあれば憂いなし。教えていただいたことを、参加されたママたちには是非実践していただきたいです。



❖参加人数
親子16組 32名

【第44回】はぐはぐパパの子育て塾 平成31年5月19日(日)

テーマ「動物に学ぶ、父の生態」～父親像のヒントは動物界にあった?!～

講師 いしかわ動物園 企画飼育係 技師 南都慶介氏

第44回はぐはぐ子育て塾は、パパを対象に、いしかわ動物園で開催しました。

子どものために父としてどうあるべきかを悩むパパも少なくないと思います。そこで、動物界から父親のことを学んでみてはどうかと、パパたちから面白い意見がでたので、パパ企画として実施しました。参加してくださったパパたちは、お子さんを抱っこしたりあやしたりしながら、興味深く職員さんのお話に聞き入っていました。前半の講義では知らなかった動物の生態を聞き、後半の見学会では、飼育係さんの解説を聞きながら動物園の中を歩きました。講義で知った動物たちの生態を実際に観察することができました。子どもたちとのんびり動物を見て過ごすパパ達の表情はとても優しく穏やかで、スタッフの私達も温かい気持ちになる素敵な会になりました。



❖参加人数 親子16組 53名(大人28名 子ども25名)

はぐCafe

はぐはぐでは偶数月の第4木曜日に「はぐカフェ」をOPENしています。

ママが、ほっこりすると、赤ちゃんもゆったり過ごせます。

はぐはぐは、毎日育児と向き合っているママたちのほっこり出来る場を大切にしていきたいと思っています。



はぐカフェは、毎日育児を楽しんでいるママも、少しお疲れ気味のママも、お茶をしながらゆっくりほっこりお喋りできたらいいなあ……との思いで開いています。12月・2月・4月、教育プラザ富樫で開催しました。12月はクリスマスのお話、スタッフによるブラックシアターやトンチタイムなど、参加者の皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。2月は冬の過ごし方をテーマにグループ毎にお喋り。4月は、石川県新聞図書推進室の方にお越し頂き、県立図書館の司書・河村美紀さんによる読み聞かせ&ブックトーク。赤ちゃんのじーっと本をみつめるキラキラとした目が印象的でした。

毎回、お子さんと一緒に手遊びや絵本の読み聞かせを行っています。優しくゆったりとした空間で、親子に心地よい時間を過ごしていただいています。

- 12月20日《はぐカフェ》～クリスマスバージョン～
- 2月28日《はぐカフェ》～冬の過ごし方～
- 4月25日《はぐカフェ》～県立図書館の司書さんによる読み聞かせ&ブックトーク～



児童養護施設の子ども達への寄り添いボランティア



毎週水曜日、聖霊愛児園(児童養護施設)で小学生を対象に学習ボランティアを行っています。

通い続けてこの夏で5年の歳月が経ちます。小学生だった子どもたちは中学生になり、親元に帰っていった子どもたちもいます。顔が見られなくなるとしばらくは寂しさも感じますが、子どもたち

の幸せを願いながら、毎回来てくれる子たちと心を込めてお付き合いできたらと思います。とはいってもまだまだ修養の身! 上手くコミュニケーションできなかつたり、子どもたちの過激な言葉についてつい反応してしまったり、毎回勉強です。それでも来てくれる子どもたちに自然と感謝の気持ちがわいてきます。

子どもの夢応援プロジェクト

児童養護施設に暮らす子どもたちの小さな夢を叶える事業として、春休みに小4と小6の女の子2名と能登島水族館に行ってきました。

小6の女の子はイルカが大好きで、実際にイルカに触ってみたいと以前会話の中で聞いたことがありました。中学生になる前のプレゼントとして園のお友達を伴い、名残雪とは言えない猛吹雪の中、能登島に出発しました。吹雪の中のイルカショーでは、寒くてイルカもストライキ気味。それでも頑張ってジャンプする姿を見て、嬉しそうに惜しみなく拍手を送っていました。その後は、直接イルカに触ったり、飼育委員のお姉さんからイルカの生態を教えてくださいました。サブライズでバックヤードを見せていただいたこと



このプロジェクトは、皆様からのご寄付やサポーター会費で実施しています。

(本当はナイショです)は、後で聞いたところ一番感激したそうです。水族館の方には大変お世話になりました。この場をお借りしてあらためてお礼を申し上げたいと思います。

後日、忘れかけた頃に思いがけず女の子から手紙が届きました。そこには10年後の自分の夢がしっかりと書かれていて、私たちの活動を応援し

てくれている言葉でしめられていました。支援をすることに見返りを求めることはありませんが、夢を持ってくれたことが嬉しくて、これからの活動に力を与えてもらった思いです。

どんな環境に育っても子どもたちが夢を持てる社会にすることが、大人である私たちの責任なのだあらためて思います。

金沢ペアレンティグ研究会 《自主事業》

「ペアレンティグ学習会」 医療、教育、保育、保健、福祉などの現場では、子どもや子育てに関する業務に従事している方から「相談に訪れた親御さんや関係者に、どのような取り組みを提案すればよいか戸惑っている」という声が良く聞かれます。子どもに関する相談は、ともすると、親御さんの労をねぎらうことに終始してしまったり、どの親御さんにも同じようなアドバイスをしてしまったり、「しばらく様子を見ましょう」と取り組みを保留するような支援になりがちです。

そのような声に応えるべく、このたび研究会を立ち上げ、ペアレンティグ学習会を開催することにしました。講師は児童相談所の職

員でもある、臨床心理士の三輪孝次さんです。本学習会は、伝統的な日本の子育てや教育および保



育現場の指導方法、さらに既存のペアレント・トレーニングの技法を縦断したり、横断したりしながら、積極的な子育て相談が展開できる知識と技術の習得を目指します。3月の学習会では、オーダーマイドのペアレンティグの基礎知識を学び、6月は、ペアレンティグの基本的な進め方を学びました。今後も2ヶ月毎に学習会を開催する予定です。次回は8/4(日)教育プラザ富樫で開催します。

働くママの支援事業 《石川県委託事業》

○育休からの職場復帰・再就職支援セミナー

平成31年2/20, 2/27, 3/6, 3/13(水曜日)の4日間、石川県女性センターにて「育休からの職場復帰・再就職支援セミナー」を開催しました。

このセミナーは県から委託を受け、託児付きで実施しています。育休中や再就職を考えている母親を対象に、仕事と子育てを両立させていく不安を見つめ、解決にあたってどうやっていくか、レクチャーを交えながら一緒に考えていきます。

最終日、参加者から「自分が両立するモデルになって後輩達に繋げていきたい」という感想があり、母親たちが自らの力で道を切り開いていく姿が想像され頼もしく感じました。

○ワーママを楽しむ会 ～家族の幸せのために～

働くママ(時にはパパも)同士で悩みを共有し、解決のヒントをみつけたり学んだりする会です。この会に参加したワーママたちに「月曜日からまた元気に頑張ろう」と思っていただけのように2ヶ月毎に開催しています。

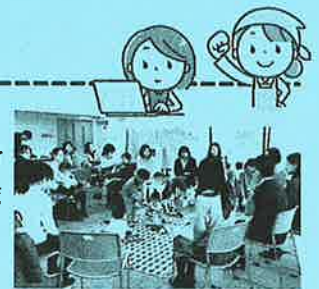
■1/20 テーマ「学ぼう!先輩パパの子育て術」

パパセミナーとして、3名の先輩パパから子育てや仕事の仕方などを学びました。パネルラーとして、家族や育児のために働き方を変えた経験のある方や、長年共働きで家事をパートナーとシェアされてきた大先輩をお招きし、具体的な家事のやり方やママとのコミュニケーション、そして子育てのことまで本音で語っていただきました。家族のカチはそれぞれですが、これを機会にパパとママで家族の幸せについて話し合ったり、働き方を考えるきっかけになっていただければと思いました。

■3/17

テーマ「先輩ママに聞く子育てと仕事の虎の巻」

毎年恒例となった先輩ママから学ぶ「回」では、経営者、管理職、企業で働く現役ワーママなど、先輩ワーママ3名をお招きして、子育てや家事、仕事との両立のコツなどを学びました。できるだけ手抜きをすることや沢山の人の助けを求め、そして自分が元気であるために工夫すること等…まさに知恵袋のような先輩たちのお話を、熱いまなざしで真剣に聞くワーママ達の姿が印象的でした。先輩ワーママの生きる姿から、沢山の刺激と頑張る力をいただいた会でした。



「夫婦支援」しあわせ家族のコミュニケーションレシピ 夫婦支援研究会(GAPS)

平成31年1月19日、金沢市ものづくり会館にて、(公財)いしかわ結婚・子育て支援財団さんとの共催で、第42回はぐはぐ子育て塾「しあわせ家族のコミュニケーションレシピ」を開催しました。子育て塾の開催日が日曜日と重なったことで実現しました。

「しあわせ家族のコミュニケーションレシピ」は、子どもの健康な育ちには家族や父親と母親の関係の良し悪しが影響することを受け、夫婦支援研究会(GAPS)が作成した夫婦支援のプログラムです。改良を重ね、学校や職場等どんなところでも開催できるように対応しています。



ラムです。改良を重ね、学校や職場等どんなところでも開催できるように対応しています。

5月11日(日)には北國銀行本社ビルにて北國銀行従業員組合さんを対象に開催いたしました。準備や運営も組合員の皆さんと一緒にいかない、多くのカップルにご参加いただきました。夫婦のワークショップは皆さん初めてで最初は緊張されていましたが、徐々になごやかな雰囲気になり楽しんでいただけたようです。企業での開催は初めての試みでしたが、家族の関係性が良くなることは仕事の充実にもつながります。終了後の皆さんの感想では大変満足いただけたようでした。

❖ 参加人数 22名

GAPSメンバー
(公財)いしかわ結婚・子育て支援財団
多賀小児科クリニック 多賀千之院長
金沢学院大学 前川浩子准教授
NPO法人子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ



はぐはぐ子育て塾 《金沢市委託事業》

【第43回】はぐはぐ子育て塾 平成31年3月19日(水)

テーマ「子育て中に親が知っておきたい防災の話」

講師(特非)石川県防災士会 防災士 福谷正信氏

第43回はぐはぐ子育て塾は、防災士さんをお招きして、起こりえる災害のお話や災害が起きた場合の様々な対処法などを教えていただきました。災害時の簡易トイレを実際に見せていただき、作り方も教えていただきました。参加したママからは「困った時に役に立ちそうな実践的なお話をお聞きできてとても良かった」との感想がありました。子どもを持つ母親は災害が起こると、たちまち“災害弱者”となってしまいます。今の日本では災害はいつでもどこで起きてもおかしくないといわれています。備えあれば憂いなし。教えていただいたことを、参加されたママたちには是非実践していただきたいです。



ば憂いなし。教えていただいたことを、参加されたママたちには是非実践していただきたいです。

❖ 参加人数
親子16組 32名

【第44回】はぐはぐパパの子育て塾 平成31年5月19日(日)

テーマ「動物に学ぶ、父の生態」～父親像のヒントは動物界にあった?!～

講師 いしかわ動物園 企画飼育係 技師 南都慶介氏

第44回はぐはぐ子育て塾は、パパを対象に、いしかわ動物園で開催しました。

子どものために父としてどうあるべきかを悩むパパも少なくないと思います。そこで、動物界から父親のことを学んでみてはどうかと、パパたちから面白い意見がでたので、パパ企画として実施しました。参加してくださったパパたちは、お子さんを抱っこしたりあやしたりしながら、興味深く職員さんのお話に聞き入っていました。前半の講義では知らなかった動物の生態を聞き、後半の見学会では、飼育係さんの解説を聞きながら動物園の中を歩きました。講義で知った動物たちの生態を実際に観察することができました。子どもたちとのんびり動物を見て過ごすパパ達の表情はとても優しく穏やかで、スタッフの私達も温かい気持ちになる素敵な会になりました。



いと思います。そこで、動物界から父親のことを学んでみてはどうかと、パパたちから面白い意見がでたので、パパ企画として実施しました。参加してくださったパパたちは、お子さんを抱っこしたりあやしたりしながら、興味深く職員さんのお話に聞き入っていました。前半の講義では知らなかった動物の生態を聞き、後半の見学会では、飼育係さんの解説を聞きながら動物園の中を歩きました。講義で知った動物たちの生態を実際に観察することができました。子どもたちとのんびり動物を見て過ごすパパ達の表情はとても優しく穏やかで、スタッフの私達も温かい気持ちになる素敵な会になりました。 ❖ 参加人数 親子16組 53名(大人28名 子ども25名)

はぐCafe

はぐはぐでは偶数月の第4木曜日に「はぐカフェ」をOPENしています。

ママが、ほっこりすると、赤ちゃんもゆったり過ごせます。

はぐはぐは、毎日育児と向き合っているママたちのほっこり出来る場を大切にしていきたいと思っています。



はぐカフェは、毎日育児を楽しんでいるママも、少しお疲れ気味のママも、お茶をしながらゆっくりほっこりお喋りできたらいいなあ……との思いで開いています。12月・2月・4月、教育プラザ富樫で開催しました。12月はクリスマスのお話、スタッフによるブラックシアターやトンチャイムなど、参加者の皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。2月は冬の過ごし方をテーマにグループ毎にお喋り。4月は、石川県新図書館推進室の方にお越し頂き、県立図書館の司書・河村美紀さんによる読み聞かせ&ブックトーク。赤ちゃんのじーっと本をみつめるキラキラとした目が印象的でした。

毎回、お子さんと一緒に手遊びや絵本の読み聞かせを行っています。優しくゆったりとした空間で、親子に心地よい時間を過ごしていただいています。

- 12月20日《はぐカフェ》～クリスマスバージョン～
- 2月28日《はぐカフェ》～冬の過ごし方～
- 4月25日《はぐカフェ》～県立図書館の司書さんによる読み聞かせ&ブックトーク～

